

みんなの声を
力に変えて

Vol.09

令和元年10月

静岡県議会議員

我が郷土・明るい駿東(長泉町・清水町)の
未来のために

坪内ひでき 県政レポート



始めに、9月9日の台風15号及び10月12日に上陸した台風19号は日本の広いエリアで我々の想像を超えるような多大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、全ての被害者の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。早い段階で県は被災施設の復旧に着手していますが、引き続き、住民の皆様との生活と生業の安定に務めると共に全国の被害状況を踏まえ、今後の対策強化に尽力して参ります。何か私にお力添えできることがございましたら、ご遠慮なくお申し付けください。

令和元年12月定例議会では、自民党改革会議を代表した代表質問を行うこととなっております。
日々地元を考えながら県全体を見て、発展できるよう懸命に努力しております。

坪内ひでき

令和元年 9月定例議会

静岡県の新ビジョン「富国有徳の美しい“ふじのくに”の人づくり・富づくり」のための重点的な取組



1. 地方創生

2. 安全・安心な地域づくり

(1) 子どもの安全確保対策 (2) 地震・津波対策

3. 未来を担う有徳の人づくり

(1) 多文化共生社会の実現



4. 豊かな暮らしの実現

(1) 産業成長戦略の推進 (2) 農林水産業の競争力の強化
(3) 「森は海の恋人」水の循環研究会 (4) リニア中央新幹線建設に伴う大井川水系の水資源及び南アルプスの自然環境の保全

5. 魅力の発信と交流の拡大

(1) ラグビーワールドカップ2019 (2) 東京2020オリンピック・パラリンピック
(3) ふじのくにパラサイクリング(タンDEM)大会 (4) 世界遺産富士山
(5) 外国人観光客の受入体制の強化 (6) 地域外交 (7) 富士山静岡空港
(8) 清水港の新たな将来像 (9) 沼津駅周辺総合整備事業

活動レポート <2019年7月~10月中旬>

駿東郡になにか活かせることがないか、日々勉強しています!



台風19号被害への対応に関する緊急要請について、川勝県知事へ自民改革会議政調会で要望しました。県は既に被災施設の復旧等に着手していますが、引き続き県民の生活と生業の安定に努めると共に全国の被害状況を踏まえ、今後の対策強化に取り組む必要があり緊急要請を行いました。



歴史ある貴船神社例大祭、そして清水町湧水まつり、長泉町わくわくまつりにも参加させて頂きました。私の身近な政治という信念に基づき、地元の皆様と沢山コミュニケーションをさせて頂きました。大変ありがたく嬉しい日でした。引き続き積極的に地元のイベントへは参加させて頂きます。その際はまた色々なお話をさせて頂きたいです。



ふれあい親子県議会教室が開かれました。地元長泉町からも参加いただきました。各地域から参加された小学生の皆さんに議会内のご案内や意見交換をいたしました。



県がエコパにお誘ったラグビーワールドカップ(W杯)。県庁に日本大会の開幕戦(20日、日本対ロシア)で主審が試合中に吹く公式のホイッスルが届きました。ホイッスルは、2015年のイングランド大会で決勝戦が行われたロンドン近郊の「ラグビーの聖地」トゥイッケナム競技場から、ユーラシア大陸を横断する約2万キロを約7か月かけて自転車で運ばれてきたとの事。この様なイベントで機運を高めてラグビーを楽しみに世界中からの観戦者を静岡でおもてなしができますように期待しております。



県議会自民改革会議、北方領土を考える議員連盟の北海道視察に参加しました。重要文化財北海道庁旧本庁舎に於いて道庁副知事や担当局長、北方同盟の皆様から取組等を聞かせていただきました。静岡県では沼津市や富士市に縁があるロシア。この縁を皆様とロシアにも知って頂ける様に取り組んでまいります。



県議会治山砂防事業推進議連で北海道へ視察に行ってきました。平成30年北海道胆振東部地震に関わる復旧復興等の状況を、国土交通省 北海道開発局 復興・強靱化推進本部と北海道水産林務部 胆振総合振興局の皆様にご説明頂きました。緊急対応、被災地支援、復旧復興に向けて迅速に活動されて着実に進んでいます。私達も備えは万全にしておかなければなりません。



県議会自民改革会議 東北地方防衛関連視察に参加しました。青森に入り海自第25航空隊を訪問。二日目は大湊地方総監部にて護衛艦おおよどを見学後三沢基地北部方面航空隊を訪問。最終日は第9師団に伺いました。実物を見て説明を受け自衛隊の皆様への24時間365日北の防人に感謝をし理解を深めることができ大変有意義な視察でありました。



ドットツリー-修善寺、川の駅伊豆ゲートウェイ函南みしま未来研究所、INN THE PARK 富士宮やきそば学会、静岡県富士山世界遺産センター

県議会総務委員会で県内視察へ。行政の補助金に頼らない民間企業とNPOの試みや地域活性化のまちづくり、地域の未来を担うこれからの世代全体の底上に、又行政施設の廃止に伴い民間企業の持つ優れたノウハウを導入し新たな価値の創造、公民連携の実例はどれも好事例であり調査に何う。今回は県東部方面で、6箇所へお邪魔させて頂きました。説明される皆様も前向きで未来を見据えております。私達も静岡県において提案や皆様のお支えをして参りたいと思います。

坪内事務所主催、 長泉町「ふじのくに」フロンティア推進区域について 勉強会をベルフォーレにて開催いたしました。

「ふじのくに」フロンティアを拓く取組について

静岡県では、防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりを実現するため、ふじのくにフロンティア推進区域を設置し、「ふじのくに」のフロンティアを拓く取組の静岡県全域への拡大に向け市町との取組や事業の具体化を強化しており、長泉町の「長泉沼津インターチェンジ周辺物流関連産業等集積区域」がふじのくにフロンティア推進区域として指定されています。

今回、静岡県政策推進局 総合政策課 フロンティア室長にお越し頂き、推進区域土地所有者の皆様方に向けてもう一度ご認識を共有できる様、きっかけ創りとしてご説明頂きました。更なる発展の希望の地、長泉町に今後も期待しています。私も努力して参ります。



進みました 童謡、唱歌の文化的価値について

昨年12月の県議会定例会で私が一般質問させて頂いた「童謡、唱歌の文化的価値」について、下記のような取り組みが進んでおり、10月8日の静岡新聞の記事に載りました。県文化プログラムの一環とし、これからもこういった取り組みが増え、県の文化価値が高まっていくように支援していきたいと考えております。

▼ 令和元年10月8日 静岡新聞



今話題の リニア中央新幹線について

リニア中央新幹線 南アルプストンネル工事における大井川水系の水資源の確保及び水質の保全について。水資源に影響を及ぼす可能性のある大井川を初めとする沿線の各河川は、水道用水、農業用水、工業用水及び発電用水等に利用されていることから、河川流量の減少は河川水の利用に重大な影響を及ぼすおそれがあります。静岡県は、トンネル湧水の全量を大井川に戻すための対策を徹底するよう要請しており、リニア中央新幹線静岡工区の当面の進め方として、科学的・工学的な検討を有識者に委ねつつ専門部会が円滑かつ迅速に進むよう引き続き専門部会での対話に努めます。今現在、自民改革会議政務調査会の副会長として大井川流域10市町に伺い、各市町長と面談をし意見を伺っております。



今、坪内が注目しているキーワードに関して

小中一貫教育について

小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指します。文部科学省の調査によると、全国1743市区町村のうち、小中一貫教育は12%にあたる211市区町村で導入されています。沼津市では今年度から市内全ての小中学校が「併設型小学校・中学校」になり、静岡市では令和4年度から全市一斉で静岡型中高一貫教育が開始されるなど、小中一貫教育が進められています。

夜間中学について

国は近年増加する不登校児童や、国籍や年齢を問わず様々な理由で義務教育の機会を十分に得られなかった人の学び直しに対応する「夜間中学」における就学機会の提供を推進しています。現在、9都府県に33校が設置されていますが、静岡県には未設置です。静岡県教育委員会は今年度、「夜間中学」についてニーズ調査を行うなど、具体的な設置の在り方の検討を始めています。

「AOI-PARC (アオイパーク)」について

県内外の研究機関や企業等が互いの技術やアイデアを持ち寄って、農業や関連産業で新たな価値を生み出す「アグリ・オープンイノベーション (AOI) プロジェクト」。その拠点となる「AOI-PARC」が平成29年、沼津市に開所しました。今後も生まれた技術を、例えば健康食メニューや加工食品などの開発へと発展させていくことで、私たち消費者の生活に役立つものが生まれると期待されています。農業従事者の皆様が気軽に利用できる施設になれるよう働きかけます。



静岡県議会議員 坪内ひでき 事務所

〒411-0943 静岡県駿東郡長泉町下土狩 1131-1 TEL: 055-957-3933
http://tsubouchi-hideki.jp/ 坪内ひでき 検索 FAX: 055-957-3934

活動報告など
日々の情報を
配信!



Facebook



Twitter



Instagram